

表1 普天間飛行場代替施設建設事業に係る各飛行場計画案に対する日本自然保護協会の意見

飛行場計画案概要	意見書名 / 飛行場計画地に関する意見の内容 (概要)
<p>『辺野古沖案 (SACO合意案)』                      辺野古サンゴ礁 (外洋に面した礁縁・礁斜面) 上に計画                      滑走路2,500m、幅735m</p> <p>*那覇防衛施設局「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書」による</p>	<p>普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書に対する環境保全の見地からの意見書 (2004年6月10日提出) /                      飛行場計画は、外洋に面したサンゴ礁に建設するという特殊な条件下にあるにもかかわらず、サンゴ礁の地形学・地質学的な基本的認識を欠いた位置選定となっている。</p>
<p>『辺野古沖縮小案』                      辺野古サンゴ礁 (外洋に面した礁縁・礁斜面、礁池) 上に計画                      滑走路1,300~1,500m、幅365m</p> <p>*報道資料による</p>	<p>普天間飛行場代替施設建設事業に関する『辺野古沖縮小案』に対する意見書 (2005年10月4日提出) /                      良好な海草藻場が埋め立てられサンゴ礁生態系に重大な影響を与える。また、計画地はジュゴンが利用しているエリアに重なり、ジュゴンの生息に重大な影響を与えるため、縮小されても埋め立てによって生じる自然環境上の問題は何も解決されない。</p>
<p>『辺野古沖縮小案』                      上記と同様</p> <p>『キャンプシュワブ沿岸案』                      辺野古崎の先端部から北東・南西の両側の海域に突き出す計画 (意見書提出時は詳細不明)</p> <p>*報道資料による</p>	<p>普天間飛行場代替施設建設事業に係る『辺野古沖縮小案』『キャンプシュワブ沿岸案』に対する意見書 (2005年10月26日提出) /                      閉鎖性海域である大浦湾を構築物で遮断することによる生態系への影響は大きい。また、キャンプシュワブ前の浅瀬には良好な海草藻場が広がり、ジュゴンが利用しているエリアでもあるため、飛行場の移設はサンゴ礁生態系、ジュゴンの生息に影響を与え、飛行場建設によって生じる自然環境上の問題は何も解決されない。</p>